

# Jazz Guitar Lesson

## For Jazz Beginner 【13】



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

<https://youtu.be/xDCrSyZBn0I>

ロックギタリストのための

## ジャズギター入門シリーズ！【13】

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第13回目は「[これまで解説してきた技法の学び方と整理方法](#)」です。独学での練習はついつい演奏の練習が多くなりがちです。もちろんジャズギターを演奏することが最終目標なので、それは正しいのですが、独学では気付けないジャズ学習の視点、楽曲やソロからアイデアを学んでいく方法をご紹介します。

### — Donna Lee / Charlie Parker —

言語には主語・動詞・形容詞・述語などのカテゴリーがありますが、ジャズ言語でも、フレーズを幾つかのカテゴリーに分類して記憶をしていきます。通常、採譜したアドリブ・ソロから取り出していきますが、今回はチャーリー・パーカーの「Donna Lee」(<https://youtu.be/02apSox7B7B4>)の冒頭4小節から拾い上げていきましょう。※今回は「Donna Lee」の解説や演奏が目的ではなく、学び方を知ることが狙いです。

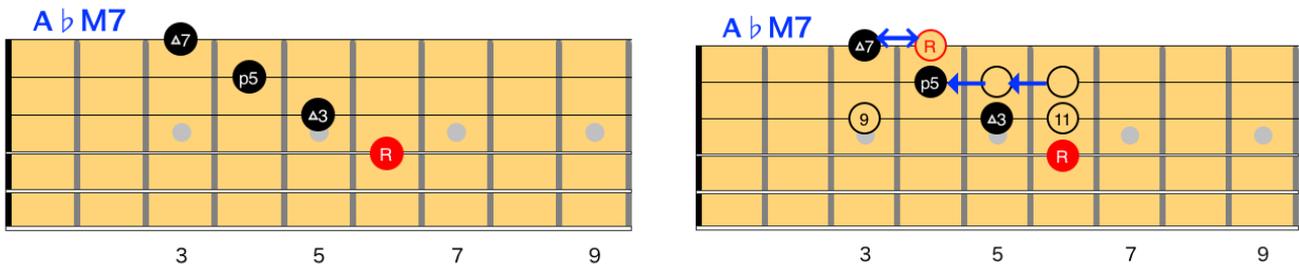
#### — 今回学ぶジャズ語法の3要素 —

▼スケール ▼コードトーン ▼解決フレーズ

The musical notation shows the first four measures of the piece. The key signature is two flats (B-flat major). The first measure is marked with A-flat, the second with F7, and the third with B-flat 7. The notation includes a treble clef and a common time signature. The first measure has a triplet of eighth notes (G4, A4, B4) followed by a quarter note (C5). The second measure has a quarter note (D5), an eighth note (E5), a quarter note (F5), and an eighth note (G5). The third measure has a triplet of eighth notes (A5, B5, C6) followed by a quarter note (D6). The fourth measure has a quarter note (E6), an eighth note (F6), a quarter note (G6), and an eighth note (A6). The bass line shows fingerings and triplets for the first three measures.

## - A♭M7 (スケール) -

1小節目から2小節目の最初の4音まで(計8音)はスケール的な要素として考えます。(A♭メジャーのフレーズが、F7へ2拍ズレ込んでいると考えます)下記の指板図のように、A♭M7のコードを見て、どのようにスケールを演奏しているかを拾い上げます。



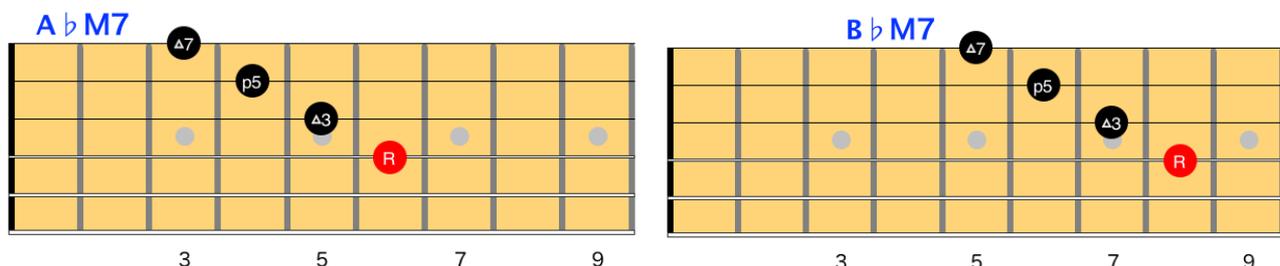
## - 言語化 -

演奏して、指だけで動きを覚えるのではなく「音遣いのポイント」を言語化していくことで理解が深まります。▼M7音とRoot音をトリル▼5度音へ向かって半音下降進行する(6th→♭6th→5th)といった具合です。

また、リズム面も重要です。▼M7音とRoot音を3連符で演奏しなければ、次の小節の頭にA♭M7の5度音(E♭音)を配置することが出来ません。下記の譜面はDonna Leeを全て8分音符で演奏した例です。2小節目の1拍目がスケール外音(F♭音=E音)となり、A♭M7のコードトーンでも、次のF7のコードトーンでもありません。これまで学んできたように1拍、3拍がコードを表現するためには重要な位置ですが、僅かなズレによりコード感を表現することが出来なくなります。

## - シェイプで見るメリット -

ギターは視覚的にフォームが見えるのがメリットでもありますので、多いに利用しましょう。「Donna Lee」で得たアイデアを「枯葉」で使いたいので、そのまま平行移動させましょう。



B $\flat$ M7



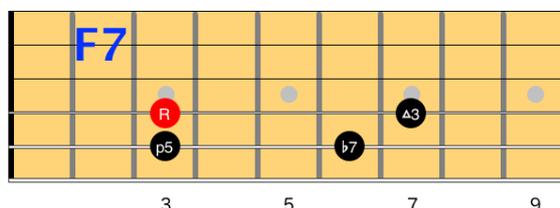
上記、平行移動したフレーズを枯葉のコード進行へ導入してみましょう。また、慣れてきたら前後のコードでもソロを取りましょう。

Cm7                      F7                      B♭M7                      E♭M7

- F7 (コードトーンの演奏順序) -

A♭                      F7                      B♭7

次にF7の音遣いを確認します。前述のように1、2拍目はA♭M7がズレ込んでおり、3、4拍目がF7のフレージングとなります。運指はとても難しいですが、ここでは「ラ」=3度、「ド」=5度、「ミ♭」=♭7度、「ファ」=Root、とコードトーンを演奏しています。「Root→3度→5度→7度」と演奏しがちなアルペジオを「3度→5度→7度→Root」と演奏してみましょう。



Cm7                      F7                      B♭M7                      E♭M7

Am7♭5                      D7                      Gm7                      G7

- 更にコードトーンヘアプローチを加える -

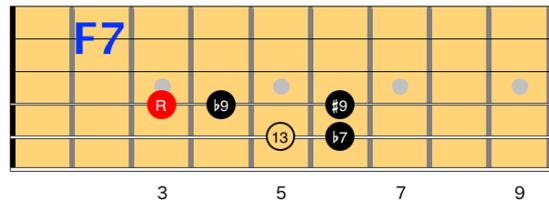
- F7 (解決) -

次にB $\flat$ 7の最初の2拍を確認します。ここはF7のフレーズがズレ込んでいると考えます。最初のG $\flat$ 音はF7の $\flat$ 9thの音、つまりは不協和感を表現しています。

## - F7 (解決) -

3 → ♭9 → ルート → ♭7                      ♭9 → #9 → ♭9 → ルート → ♭7

これまでに学んだ解決（上記スコア左）  
と、今回の#9thを含めた解決（上記スコア右）です。まずは解決のポイントだけの練習。その後、コードトーンから解決までを演奏してみましょう。



解決のみ

Cm7      F7                      BbM7                      EbM7

Am7b5      D7                      Gm7                      G7

コードトーン+解決

Cm7                      F7                      BbM7                      EbM7

Am7b5      D7                      Gm7                      Gm7

## - 学んだアイデアを取り入れる -

Donna Lee から拾い上げた3つの要素 (▼スケール▼コードトーン▼解決) を枯葉へ導入します。この時、以前学んだ3度へのアプローチや、その他の技法も忘れないよう、並行して練習していきます。

The musical score is divided into five systems, each with two staves (Treble and Bass clef). The key signature is E-flat major (two flats). The time signature is 4/4. The score includes the following chord symbols and measures:

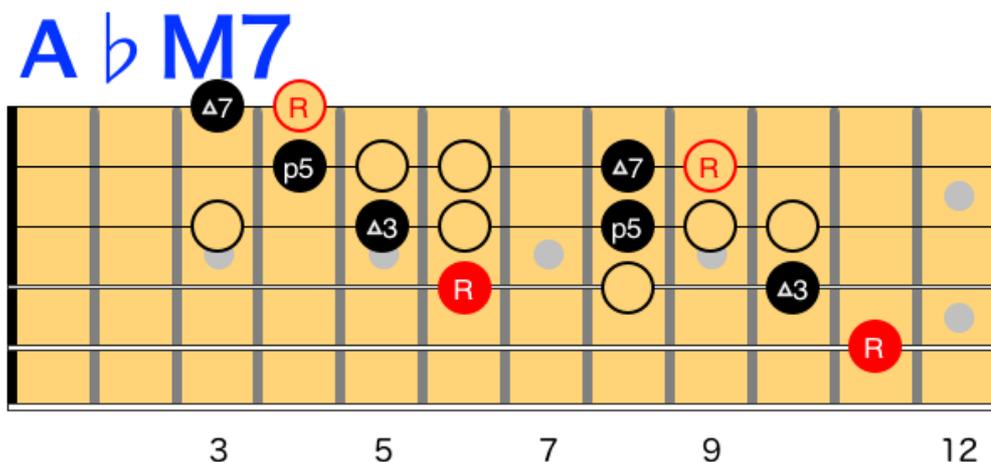
- System 1:** Cm7 (measures 1-2), F7 (measure 3), B♭M7 (measures 3-4), E♭M7 (measure 4). Includes a triplet in measure 3.
- System 2:** Am7♭5 (measure 5), D7 (measure 6), Gm7 (measure 7), G7 (measure 8).
- System 3:** Cm7 (measure 9), F7 (measure 10), B♭M7 (measure 11), E♭M7 (measure 12). Includes a triplet in measure 10.
- System 4:** Am7♭5 (measure 13), D7 (measure 14), Gm7 (measure 15), G7 (measure 16).
- System 5:** Am7♭5 (measure 17), D7 (measure 18), Gm7 (measure 19), G7 (measure 20). Includes a triplet in measure 18.

## - 応用・自分のフィルターを通す -

拾い上げたアイデアを自分なりに応用させることにより更に理解度が深まります。

▼A $\flat$ M7のスケール・アイデアはコードフォームを見ながら演奏していました。

→ 1～4弦のコードフォームを2～5弦で演奏してみる。



▼F7のコードトーン・アイデアは3rd→5th→ $\flat$ 7th→Rooと演奏していました

→ 7thコード以外のコードでも演奏してみる。

The image displays musical notation and guitar tablature for several chords and scales:

- 1. Cm7:** Melody: C4, E4, G4, Bb4, C5. TAB: 8, 10, 8, 10, (10)
- 2. F7:** Melody: F4, A4, C5, Bb4, F4. TAB: 7, 8, 6, 8, (8)
- 3. B $\flat$ M7:** Melody: Bb4, D5, F5, Ab5, Bb4. TAB: 7, 8, 7, 8, (8)
- 4. E $\flat$ M7:** Melody: Eb4, G4, Bb4, Ab4, Eb4. TAB: 8, 8, 7, 8, (8)
- 5. Am7 $\flat$ 5:** Melody: A3, C4, Eb4, G4, Am7. TAB: 5, 6, 5, 7, (7)
- 6. D7:** Melody: D4, F#4, A4, B4, D5. TAB: 7, 7, 5, 7, (7)
- 7. Gm7:** Melody: G3, Bb3, D4, F4, Gm7. TAB: 3, 5, 3, 5, (5)
- 8. G7:** Melody: G3, Bb3, D4, F4, G7. TAB: 4, 5, 3, 5, (5)

▼更にアプローチを入れてみる

Chords: Cm7, F7, B $\flat$ M7, E $\flat$ M7, Am7 $\flat$ 5, D7, Gm7, G7

▼F7の解決アイデアは $\flat$ 9th $\rightarrow$ #9th $\rightarrow$  $\flat$ 9th $\rightarrow$ Root $\rightarrow$  $\flat$ 7th $\rightarrow$ と演奏していました。

$\rightarrow$ #9th $\rightarrow$  $\flat$ 9th $\rightarrow$ Root $\rightarrow$  $\flat$ 7thと演奏してみる。

Chords: F7, B $\flat$ M7

▼枯葉のコード進行で使用

Chords: Cm7, F7, B $\flat$ M7, E $\flat$ M7, Am7 $\flat$ 5, D7, Gm7, G7, Cm7

## － 独学と通学の決定的な違い －

このように、ジャズのレッスンでは、僅か4小節のフレーズから多くのものを拾い上げ、解説し、それを課題として練習していきます。例えば、今回のように「A♭M7やF7が次の小節までズレ込んでいること」を譜面からキャッチするのは初心者には困難かと思います。きっと演奏するだけで練習が終わってしまいますよね。初見で同じ譜面を渡されても上級者の方が多くの情報を読み取ることが出来ます。これはプロの中でも大きな差があり、経験がものを言います。

シリーズの最初に説明しましたが、▼師事した場合には、段階的にアイデアを学んでいくことが出来ます。しかし、▼独学の場合は、練習する素材の難易度もバラバラ、教本やYouTubeといった情報過多な状況で、何から取り組んでいいのか分からず途方に暮れてしまいますよね。これでは上達ペースにかなりの差が生じます。

## － 上達までのルール －

練習に迷いが無い状況を作るためだけでも、師事する価値は十分にあると思いますし、師事したいけれど叶わない方達のために、完璧ではありませんが、このシリーズがお役に立てば嬉しいです。

▼投げ銭応援箱 <https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。額は自由に変更できます。  
まだまだ制作頑張ります。応援、宜しくお願い致します。

